（別添資料１）

事業所名　アミコ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日　2025 年　1 月　24 日

法人（事業所）理念	すべての子どもたちの笑顔のために			
支援方針	それぞれの子どもの発達状況やニーズに応じた内容で楽しく活動する中で「わかった！できた！もっとしたい！」を引き出し、自己肯定感を高めるように支援する。			
営業時間	9 時　30 分から　17 時　30 分まで		送迎実施の有無	（あり）　なし
	支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握、個人の特性を理解した上で、支援ができるようにする。身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でしようとする。 ・年齢相応の生活・行動が意識できるよう、家庭の様子を伺い、連携を取って安定した自立を促す。 ・自分自身のスケジューリングを時間を見て考えたり、段取りを組めるような視覚的提示や助言をし、自分で考える機会を促す。		
	運動・感覚	・体力づくりやストレッチ、運動遊びや製作などを通して、全身の粗大運動やボディイメージの形成、バランス、道具の使用や巧緻動作の発達を促す。 ・感覚遊びを通して感覚の特性に応じたニーズに応え、感覚の調整・統合を行っていく。 ・適切な感覚の入力や身体を動かす楽しさを味わう。		
	認知・行動	・実体験を通して、様々な音、色、形、手触り、動きなどの状況や道具の使用など体験して触れていき、ものの認知・理解を拡げる。 ・また絵本やプリント、ルールのある玩具遊びなども使用し、視覚、聴覚、触覚などの情報も使い認知・理解を促す。 ・目と手の協調やビジョントレーニングなどを通して、遊びの中で位置感覚や、距離感など空間的認知ができるような遊びを行う。		
	言語 コミュニケーション	・自分の気持ちを言語で表現する事の楽しさを味わう。絵本や物語などに親しみ、他者と心を通わせる喜びを感じる。 ・みんなの前で発表するなど、自分の意思、意見を相手に伝わるように表現し、他者の意見も聞き自分との相違点や共感する事がある事に気付く。 ・職員と一緒に見立て遊びや、つもり遊び、ごっこ遊びであったり、グループでの協同作業や遊びをする中で、他者との言葉のやり取りを楽しむ。		
	人間関係 社会性	・職員や他者との関わりを通して、やり取りすることの楽しさや社会的マナーを身に付けられるよう支援する。 ・協同作業や集団行動を通して、規律を守る事や、集団の中の一人としての自分を捉えられるよう、社会性の発達を支援する。 ・SSTなどでふわふわ言葉やちくちく言葉を知ったり、ロールプレイや寸劇を見て、相手の気持ちや自分の気持ちについて考える機会をもつ。 ・自立に向けて、自分のことは自分で取組む機会を増やし、一人でできた喜びを感じられるようにする。状況に応じた気持ちのコントロールができるよう支援する。		
家族支援	・事業所にて個別の面談を定期的に行い、保護者と共通認識を持ちながら支援に取り組む。 ・保護者交流会を行い、他の保護者と交流し、悩みなどを相談したり、助言を聞いたり、情報共有する機会を設ける。 ・相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整を行う。		移行支援	・個々のニーズに応じて、学校等利用者の関係機関との連携を図り、支援内容の情報共有を行う。
地域支援・地域連携	・子ども支援連絡会に参加し行政・教育機関・相談支援・他施設と連携を図る。 ・地域の他の障害児通所支援事業所の連絡会等情報共有の場に参加し連携を図る。 ・地域イベントへ（お祭り等）に参加する。 ・研修生、福祉体験事業、ボランティア等の受け入れをする。		職員の質の向上	・外部研修へ積極的に参加する。 ・内部研修を実施する。 ・支援前後に職員間でのミーティングを実施し、情報共有する。
主な行事等	季節の行事（初詣、お花見、夏の水遊びやプール、ハロウィンなど）、避難訓練、クッキング、外出、遠足、見学旅行など。			